設備投資

地元ボールメーカーとのコラボ製品開発に拠る、国内中小モノづくり企業の新価値創造

地元スポーツ用具メーカー製の「ボール素材」をそのまま生かしつつ、新たな使用価値を提供する製品（バッグ・小物等）を開発し、その事業化に向け、「滑りにくく縫製が困難な素材の量産加工法の確立」と「世界ブランドである『ボール』との連携メリットを顕在化させる製品デザインの実現」を行った。

社屋一階店舗内

PURPOSE
事業目的

日本の優れた技術を守り続け、地域雇用を守るという強い使命感の元、服飾縫製専門の委託製造体制から脱却し、国内外での競争力を高めるべく、服飾以外の分野（バッグ・小物）における「特殊素材の縫製加工技術力の強化」と、技術力をバックボーンとした「オリジナル製品の量産化と直販体制の構築」を実現する。

MOTIVES
製品開発のきっかけ

2020年の東京オリンピック、2018年のFIFAワールドカップなどによりスポーツブームが高まることが予想される。
・50年以上の縫製技術の蓄積
・大手ブランド商品を手掛けてきたデザイン力
・地元産業との連携による製品開発の実績
という自社の強みを活かし、国際的ブランド力を有する「MIKASA」製ボール素材の使用を使用したオリジナルのバッグ・小物を商品化する。
これにより経営課題である国内外企業との競争力強化と販路拡大を図りたいと考えた。

TARGET
製品開発の目標

自動裁断機、自動延反機、特殊ミシンの導入によりボール素材を使用した商品の量産加工を実現し、既存商品の縫製加工作業においても効率化と省力化を実現する。裁断業務を内製化することで最短リードタイムを10日から5日に短縮し、多品種小ロットの注文への対応、直販体制の構築、ショップへの営業強化により、グローバルニッチ市場での販売チャネルを拡大する。
これにより、平成27年度実績である売上：114百万円・社員：30名から、平成31年度の目標は売上：162百万円・社員：33名とし、売上と雇用の拡大を目指す。

DETAIL&POINT

製品開発の内容

CAM搭載自動裁断機の導入で多様なデザインへの対応を容易にする。裁断作業を1/10以下に削減し裁断工程の効率化を図る。厚みのある素材を積層させても精密に裁断することを可能とする。

自動延反機の導入で延反作業の精度を高め品質を向上させる。

底に針送り機構を持つ特殊ミシンの導入で、重く滑りにくいボール素材の縫製に対応する。

また、新規に導入した機器を既存事業の布帛生地の裁断・延反・縫製にも使用することで、全社的な効率化を図る。

CAM搭載自動裁断機

RESULT

本事業の成果

【生産の効率化】

自動裁断機の導入で、裁断工程の作業時間が1/10以下に削減され、全社的に大幅な効率化を実現できた。

【品質向上】

裁断作業や延反作業の品質が向上した。

【商品開発力の強化】

CAD・CAMの導入によりデザイン力の強みを活かした商品開発が省力化・迅速化された。

【技術継承】

裁断・延反作業が平準化され、技術継承が容易になった。

PROSPECT

今後の展望

【収益性の向上】

生産コストの削減を更に推進し、収益性を高める。

【ブランディング戦略】

オリジナル商品や、他社とのコラボレーション商品を増やし、ブランド力を高める。

【販売チャネルの拡大】

営業活動を強化し、販売チャネルを拡大する。

【人材力強化】

新卒採用活動と人材育成を継続し、社内に技術を蓄積することで事業規模の拡大に備える。

KEY POINT

ココがポイント！

ボールの生地はとても手触りが良く、柔らかく丈夫な素材です。また耐久性と軽さに優れた「革に勝る」人工皮革です。

ボール素材を使用したバッグ

ボール素材を使用した財布・小物類

MESSAGE

更なる成長へ向けて

このような企業様からのご連絡をお待ちしています

流通卸業や、セレクトショップなどの小売業の方々、弊社の商品のお取り扱いをご検討いただけますでしょうか？

弊社のパートナーとなっていただける企業様を募集しています。弊社とのコラボレーションで新規性が高く独創的な商品を開発してみませんか？

弊社の商品に興味をお持ちの方、商品企画や商品開発、製造に携わってみませんか？

皆様からのご連絡をお待ちしております。

CORPORATE DATA

事業者概要

八橋装院
株式会社

広島市安佐南区西原1-27-10
電話番号：082-874-1330
http://yahashisouin.com

代表者名	高橋 伸英
設立	昭和36年4月6日
資本金	32,000千円
従業員	33名
事業内容	縫製・繊維加工・被服製造・企画提案・販売

代表取締役
高橋 伸英